

小城警察署協議会開催結果の概要

令和6年3月14日

会 議	令和5年度 第3回小城警察署協議会
開催日時	令和6年2月21日（水） 15：00～16：00
開催場所	小城警察署 3階会議室
出席者	○協 議 会：眞崎委員、宮原委員、森永委員、永田委員、 大家委員、水田委員、柴田委員（7人） ○警 察 署：山崎署長、佐藤幹部派出所長 酒井警務課長、江里口留置管理課長、清水生活安全課長 古賀刑事課長、廣瀬交通課長、森警備課長 江口会計課長、警務係長（10人） 計 17人
議 事 概 要	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 本日は、「通学路における交通事故防止に向けた取組」について諮問を受けたことに対し答申することになっている。 地域と警察が密接に連携してこそ、地域の安全・安心が確保されていくものだと考えるので、委員の皆様にはぜひ、忌憚のない御意見をいただきたい。</p> <p>3 署長挨拶 管内の治安情勢については、今年に入り、殺人未遂事件や民家火災が発生するなど、目まぐるしい日々が続いた。 管内の刑法犯認知件数は、昨年と比較して約20%増加傾向にあり、特に万引きや自転車盗など、地域の皆様が不安に感じる犯罪が増加している状況である。 一方、管内の交通事故発生状況は、人身交通事故は減少傾向にあるが、交通事故の総数は増加しており、人の動きが活発化するなか、冬から春にかけてその対策を徹底する必要がある。 昨年11月に「通学路における交通事故防止に向けた取組」について諮問させていただいた。 本日は、委員の皆様で協議していただいた答申を受けて、管内住民の皆様の期待に応えられるよう署員一丸となって頑張っていく所存である。</p> <p>4 業務推進状況</p> <p>(1) 警務課長 ア 管内の警察相談受理状況（令和5年中） イ 積極的な広報活動の推進 ウ 職員の士気高揚及び健康管理への取組</p> <p>(2) 生活安全課長 ア 管内の犯罪抑止対策推進状況 イ ニセ電話詐欺の情勢（令和5年中） ウ 男女間トラブルの現状（令和5年12月末） エ 少年非行の現状（令和5年12月末） オ 犯罪のない社会づくり活動</p> <p>(3) 幹部派出所長</p>	

- ア 地域課の街頭活動事例
- イ 現場対応力向上のための取組み

(4) 刑事課長

- ア 刑法犯の認知件数及び検挙件数（令和5年中）
- イ 窃盗犯の認知件数及び検挙件数（令和5年中）
- ウ 主な取扱事件

(5) 交通課長

- ア 管内の交通事故発生状況（令和5年中）
- イ 管内の交通事故の分析
- ウ 分析結果を踏まえた対策等

(6) 警備課長

- ア 警備訓練の実施
- イ 外国人技能実習生に対する防犯講話の実施
- ウ 経済安全保障に係る警察活動について

(7) 会計課長

- ア 遺失物・拾得物の取扱状況
- イ 会計監査受監状況
- ウ 小城警察署財産状況

5 質疑応答

委員 少年非行の現状について、前年比プラスになっている理由は何か。分析はしているのか。

警察 少年非行は、深夜徘徊や喫煙等の少年補導件数が増加している。少年補導の件数が増加しているということは、少年非行に対する抑止効果もある。

委員 非行を発生させないための方策は何かあるのか。

警察 各学校に対する各種防犯講話について、小城警察署生活安全課と地域課とでタイアップしながら行っている。
また、小城市教育委員会及び多久市教育委員会に対する働きかけも行っている。

委員 管内に技能実習生は何人くらいいるのか。

警察 管内の外国人の数は、小城市が314人、多久市が260人と把握しており、うち技能実習生はその半分くらいと思われる。

委員 今年1月に大雪が降ったが、その日がどのような対応がなされたのか。

警察 課長は警察署に待機し、課員を出勤前に招集するなどして対応した。道路の凍結防止のため、事前に市役所や道路管理者に凍結防止剤の散布を依頼した。

委員 自転車利用者に対する違反切符はどうしているのか。

警察 悪質な違反については検挙している。

6 答申

署長から諮問のあった「通学路における交通事故防止に向けた取組」について、会長から、

- 「ハンドサインで渡ろう運動」の継続、浸透
- 安全な通学路の整備と通学路点検の実施
- 効果的な交通指導取締りの推進

等の対策をお願いしたいとの答申がなされた。

7 その他

国スポ等開催に向けた警備体制に関し、署長から委員に対し協力依頼や情報提供の依頼がなされた。

8 閉会